

〔事業名〕

# 中山間地域の通いの場におけるフレイル予防対策 を起点とした地域住民の包括的支援 に関する調査研究事業

～“見える化”・“つなぐ化”  
プロジェクト～

補足資料

〔事業総括〕

徳島大学大学院医歯薬学研究部  
口腔科学部門口腔保健学系  
口腔保健支援学分野

尾崎 和美

# 地域住民の包括的支援に向けて注視すべき“口腔/食”支援の課題

## 住民も含め、地域ぐるみでの“口腔/食(栄養)”目線の定着が必要

**“自助・互助”  
“共助”意識  
の強化**

住民：エンパワメント（潜在能力引き出し）のための **教育/予防プログラム**  
⇒ “健口”**サポーター**養成の継続と口腔/栄養/健康リテラシーの向上  
職員：人材育成に向けた意識醸成のための **教育プログラム**  
⇒ 口腔/栄養/健康リテラシーの向上/ICTリテラシーの向上



**“介護者の負担増”  
への歯科的支援**

・**摂食嚥下障害”への早期対応の重要性認識**と **歯科専門職との早期かつ確実な連携**（社会資源の適時適切な利用）  
・栄養摂取状況（喫食量や食形態）の評価と **多職種連携による協議/最適な食形態・食事介助の検討・提供**〔ミールラウンド〕

### 口腔リテラシー低下

- ・口腔への無関心
- ・口腔保健行動低下（口腔清掃習慣/歯科受診）
- ・口腔情報活用能力低下

↓  
・**う蝕/歯周病による歯の喪失**  
・**咀嚼機能低下**

### オーラルフレイル

- ・滑舌低下
- ・わずかなムセ/食べこぼし
- ・噛めない食品増加

### 口腔機能低下症

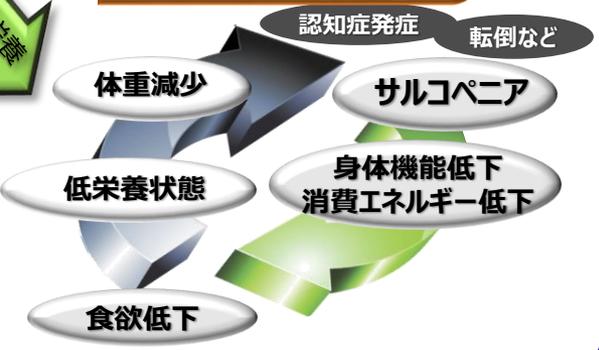
- ・咬合/咀嚼状態低下
- ・摂食・嚥下機能低下
- 食形態レベルの低下**

### 栄養/健康リテラシー低下

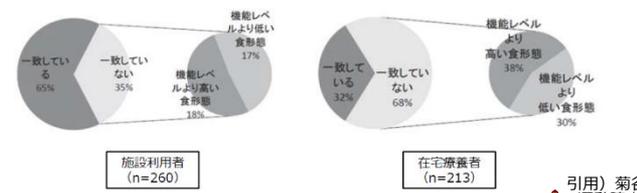
- ・無意識的な塩分過剰摂取など健康を意識しない食習慣
- ・栄養健康情報活用能力低下
- ・**食習慣行動の乱れ**

↓  
生活習慣病発症  
→要介護状態

### フレイルティ・サイクル



### 咀嚼機能と食形態の乖離の現状



咀嚼機能に合った食形態を摂取できていない人が多い

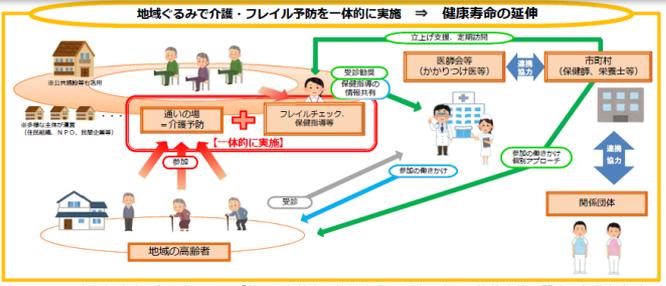
引用) 菊谷武：運動障害性咀嚼障害を伴う高齢者の食形態の決定. 日補綴誌, 8: 126-131, 2016.

### 事業目的

**“通いの場”への歯科参画**を起点とし、地域住民の口腔機能および認知機能の向上に資する包括的支援体制の構築に向けた調査研究  
↓  
・**口腔/認知機能の同時注視の必要性/重要性啓発**  
・**行政等と関係医療団体が連携した“口腔/認知機能の同時モニタリングプログラム”の確立と普及**  
⇒ **在宅/施設高齢者への日常的口腔ケアや食生活に関する支援体制の構築を目指す。**

# “通いの場”への歯科参画を起点とした“口腔/認知機能”向上に資する包括的支援

予防・健康づくりの推進(医療・介護保険による予防・健康づくりの一体的実施)



## 福祉

- 【行政等】
- ・市町村役場
  - ・地域包括支援センター
  - ・社会福祉協議会

## 求められる歯科のアプローチ

多職種連携のもと…



“通いの場”への  
歯科参画

日常的口腔ケア支援  
シームレスな食支援

## 介護

- 【支援機関】
- ・居宅介護支援事業所 ほか
  - 【各種施設】
  - ・特養/老人保健施設 ほか



## “食のQOL” 向上

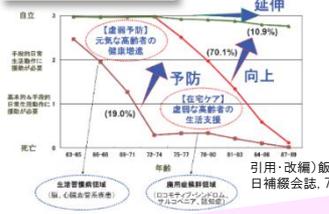
在宅/施設高齢者への  
日常的口腔ケア/食支援  
を行う介護者への支援

“通いの場”(地域サロン/高齢者サロン); 介護予防のキースト  
ン運動や趣味、食事会等への参加を通した「自助・互助」意識醸成

活気ある継続的な運営・活動… 体操習慣の定着

“体操の場”, “通いの場” から  
“憩いの場”, “生きがいの場”へ

## 健康寿命の延伸



## 理想/目標

## 健康寿命+ “健口”寿命 の延伸

- ・口腔リテラシーの向上
- ・“咀嚼機能向上”のための  
歯科受診必要性啓発

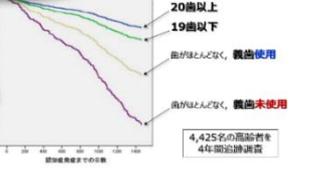
## 現状/危惧

- 長年にわたる運営のなかで…  
参加者の虚弱化や認知症など罹病に伴う脱落  
⇒ 継続的な“通いの場”運営継続の困難化
- 周辺の“通いの場”不参加者、(オラル)フレイル予備軍の増加



歯が無く義歯も使っていない人の  
認知症発症のリスクは  
歯を多く保有する人の1.9倍

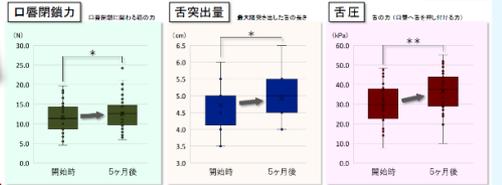
口腔機能  
とくに“咀嚼機能”の  
認知機能への影響



## 歯科/口腔保健の 健康寿命延伸への寄与



## H30年度老健事業における検証研究(徳島大学・論文投稿中)

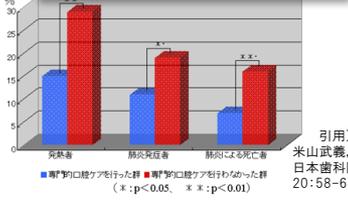


## 8020運動の成果

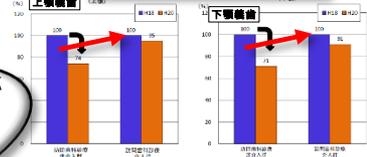
75歳以上高齢者の2人に1人が、  
20本以上の歯を持つようになった



## 口腔ケアによる誤嚥性肺炎予防



## 歯科が関わると、 義歯を長く使ってくれる



・残存歯の増加/インプラント治療者  
の増加に伴う口腔ケア負担増  
・食支援業務の負担増

## 医療/ 歯科医療

- 【関係医療機関/団体等】
- ・理学療法士会/歯科衛生士会/栄養士会
  - ・医院/歯科医院(かかりつけ医)/三師会
  - 【大学機関等】

# 事業概要〔事業行程/担当〕

地域包括ケアシステム構築における  
役割分担“助”の推進・連携・強化  
“見える化・つなぐ化プロジェクト”

- ① (オーラル)フレイル予備軍抽出/  
在宅歯科医療支援/アウトリーチ支援
- ② 口腔/認知機能の同時注視の重要性啓発 および  
予防行動定着に向けた同時モニタリングプログラムの構築

- ① 住民：
  - 1) 効果が検証された**健口体操プログラム**の普及/継続研究
  - 2) “健口”サポーターの養成・普及に向けたリテラシー向上のための**講話活動**
- ② 職員：“口腔/食(栄養)”目線での見守りの意識と歯科受診勧奨に対する認識向上など**システム利活用強化**を視野に入れた**教育プログラム**

現地訪問調査 2020年7月～2021年2月

“通いの場”参加自立高齢者  
施設利用要支援/要介護高齢者

継続可能性を高める  
簡易認知機能評価法の確立と  
応用的活用に関する試行的研究

興味と傾注を促す口腔体操の  
改良と要支援/要介護者への  
適用可能性に関する検証

口腔ケア研修会 2020年9月～10月 福祉・介護職/医療職

・支援職種による口腔アセスメント体制の構築と円滑な体制運用に資する口腔アセスメントスキル向上を目的とした**研修会**  
… 対面講義、相互実習およびファントム実習  
… 採取ブランクの培養状態/臭気の確認など



ICTシステム利活用/  
充実にに向けた運用構築

2020年7月～  
2021年1月

健口自助システム  
かなひろいテスト

1) 職員から  
2) 元

応用的活用に  
資する再構築

歯科が関わり  
“通いの場”を活性化

口腔機能  
モニタリングシステム

- ① 残存歯数、最大咀嚼量、舌突出量
- ② 咬圧 (kPa)、口唇閉鎖力 (m)
- ③ 舌/口唇の運動/巧緻性 (オーラル/PT/OT/ST/OD)
- ④ 舌背付着量 (mm)

口腔機能測定 ⇒ カード管理  
+ 前回結果と比較しつつ対話

地域住民を見守るクラウド型 ICT システム  
(ICTを活用した要支援者の多職種情報共有ツール)  
要支援者等情報共有システム  
～新みまもるくん～

アウトリーチ支援  
“通いの場”

いきいき百歳体操  
・筋力づくり  
・認知機能改善

認知機能低下  
身体機能低下

薬剤管理(医薬)

バイタル

高齢者見守りに関連する地域職員の諸業務を電子化  
(スマートフォンを用いた発生源入力が可能)

健口体操

口腔機能  
長期経過観察  
(モニタリング)

口腔/食モニタリング

口腔アセスメント

毎日の食事記録(栄養摂取量の記録)、口腔機能評価、施設利用者の訪問歯科診療依頼など

クラウドサーバ

地域ケア会議

タイムライン機能

ケア会議機能

【ケア会議機能・タイムライン機能】  
要支援者等情報共有システムの基盤的機能  
地域ケア会議開催時、これら画面を会議室で映写し、表示される情報の閲覧・共有の上、課題解決に向けた議論をし、見出した解決策をこの画面の所定箇所に入力する。

フィルタリング機能追加  
→ 連携手帳として進化  
【開発予定】

共助  
フォーマルサービス  
社会保険  
(医療/介護)

データの  
“見える化”と  
住民/職員の  
“つなぐ化”

自助  
・自らの健口/健康  
の維持/向上  
・リテラシー向上

互助  
・インフォーマル  
サービス/ケア  
・見守り

“口腔/食(栄養)”目線での見守り意識の醸成と“互助”への支援  
および  
“口腔アセスメント”/“往診依頼”コンテンツの利用  
など**システム利活用強化**による“共助”への連携

AWA-iコンサルSNS機能

フォーラム 2021年2月 地域住民/多職種

・フレイル/オーラルフレイル予防視点での  
「自助・互助」意識の啓発と**予防行動の定着・推進**に  
資する教育講演会 (フォーラム形式/Web形式)

“健口”サポーターによるオーラルフレイル/フレイル指標の  
システム入力や虚弱高齢者への健口体操の促しなど“互助”の強化  
⇒ **高齢者自身が端末で記録確認 (ITバージョンUp)**

健口体操プログラム 2020年10月～  
2021年2月 地域住民

・オーラルフレイル予防プログラムの実施状況調査  
… H30～R1本事業において効果を実証済

・口腔/認知機能の同時注視の重要性啓発の  
ための講話活動  
… “自助”によるオーラルフレイル予防推進  
… “健口”サポーターの要請活動



DM/CKD連携パス  
機能構築(追加)

タイムラインのフィルタリング機能  
(CKD関連情報のみ抽出表示)

Awa-iコンサルSNSの  
コンテンツとして。

ケア会議機能(基本情報)  
として、もともと整備

《事業終了後～》  
口腔/認知機能の同時注視と同時モニタリングプログラムによる  
地域住民の包括的支援体制の確立  
⇒ 活気ある継続的な“通いの場”の運営実現